

平成26年度 私立短大教務担当者研修会
2014.10.28

短期大学の活性化に向けて 比治山大学短期大学部幼児教育科における学修支援の取り組み スキをスキルにする保育者養成プログラムの紹介

 比治山大学 短期大学部 幼児教育科 講師 土井貴子

比治山大学の構成

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】「大学教育推進プログラム」
スキをスキルにする保育者養成プログラム

大学

現代文化学部
言語文化学科
社会臨床心理学科
マスコミュニケーション学科
子ども発達教育学科

健康栄養学部

比治山大学の建学の精神・教育理念
「悠久不滅の生命に向かって精進する」

短期大学部

幼児教育科
総合生活デザイン学科
美術科

幼児教育科の目標

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

目的（学則）

保育技術や知識の修得、感性・創造性・表現力の育成、
カウンセリングマインドの習熟、保育観・人間観を確立す
ることを目標にして、優れた保育技術を備え、人として尊
敬される人材を育成する

幼児教育科の教育目標

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

教育する「人」の養成

子どもを知る

- 親や子どもとの信頼関係を維持できるカウンセ
リングマインドの習熟

保育を知る

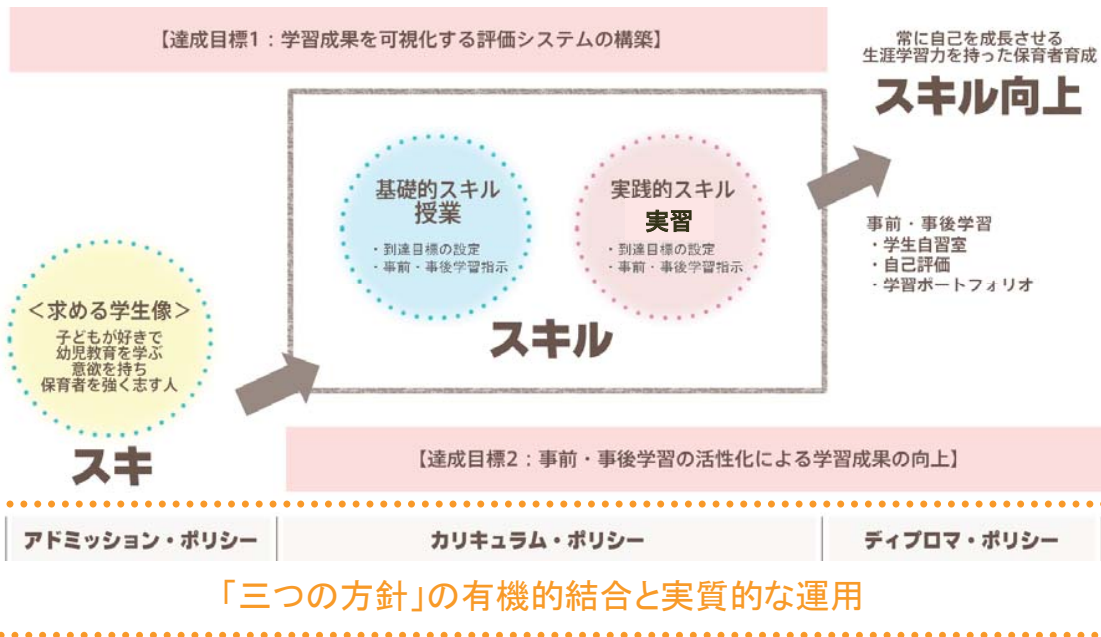
- 保育技術・知識の習得
- 感性・創造力・表現力の育成

自分を知る

- 保育観・人間観の確立

取組の趣旨・目的

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



＜求める学生像＞
子どもが好きで
幼児教育を学ぶ
意欲を持ち
保育者を強く志す人

スキ

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIYAMA UNIVERSITY

アドミッション・ポリシー

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

求める学生像

本学科が求める学生像は、上記の教育目標を理解し、子どもが好きで幼児教育を学ぶ意欲をもち、保育者を強く志す人です。

知識・理解

高等学校までに履修する教科の内容を幅広く理解している

技能

音楽、体育、美術などの得意分野を有している

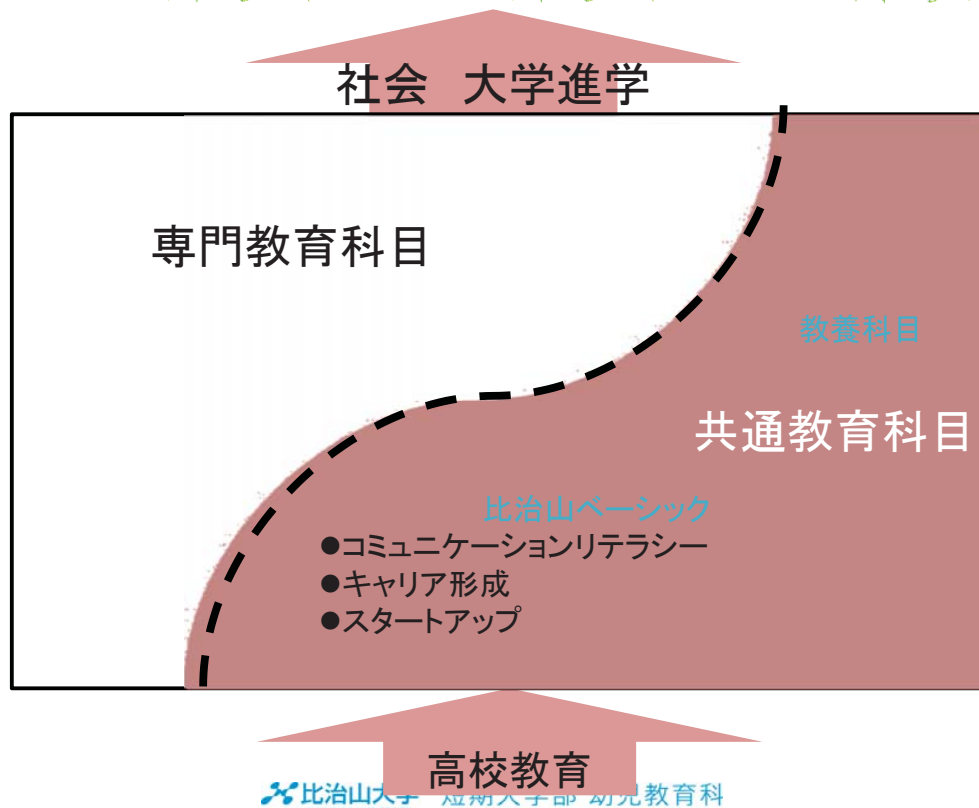
思考・
判断・表現

物事を論理的に考察し、自分の主張を述べることができる

態度・
志向性

課外活動、学校行事、ボランティアなどの活動に積極的に参加している

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIYAMA UNIVERSITY



専門教育科目

教育実習や卒業研究を含む「保育の実践と研究」を中心として、「保育の本質・目的の理解」「保育の対象の理解」「保育の内容・方法の理解」「保育の基礎技能」の5つの領域で構成し、理論と実践のバランスに配慮するとともに、保育者に求められる資質能力を確実に修得できるように体系的に編成しています。

カリキュラム

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】〔大学教育推進プログラム〕
スキをスキルにする保育者養成プログラム

領域・分野	授業科目名		
保育の本質・目的の理解	教育基礎論	児童家庭福祉	保育原理
	保育者論	社会的養護	保育原理Ⅱ
	社会福祉	相談援助	
保育の対象の理解	教育心理学	子どもの保健	子どもの食と栄養
	保育の心理学	子どもの保健Ⅱ・Ⅲ	家庭支援論
	保育の心理学Ⅱ		
保育の内容・方法の理解	教育課程論	保育内容(総論)	保育内容(音楽表現Ⅰ・Ⅱ)
	教育方法論	保育内容(健康)	保育内容(身体表現Ⅰ・Ⅱ)
	臨床相談	保育内容(人間関係)	保育内容(創作表現Ⅰ・Ⅱ)
	保育カンファレンス	保育内容(環境)	保育内容(言語表現Ⅰ・Ⅱ)
	障がい児保育	保育内容(言葉)	乳児保育
	社会的養護内容	保育内容(表現)	乳児保育Ⅱ
	生活		
保育の基礎技能	音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	図画工作Ⅰ・Ⅱ	
	器楽	体育Ⅰ・Ⅱ	
保育の実践と研究	幼稚園教育実習Ⅰ・Ⅱ	保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	総合演習
	保育・教職実践演習	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	特別研究Ⅰ・Ⅱ
卒業研究			

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIJYAMA UNIVERSITY

取組の趣旨・目的

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】〔大学教育推進プログラム〕
スキをスキルにする保育者養成プログラム

大学等名 : 比治山大学短期大学部
取組名称 : スキをスキルにする保育者養成プログラム
—短期大学士(幼児教育)の質保証を目指して—

目的 得意分野の育成に努める素地 > を持ち、常に自己研鑽に努め、自己を成長させる保育者養成
生涯学習力【態度・志向性】

建学の精神・教育目標・人材養成目的

学習到達度指標(12のスキル)の策定

学士力 総合的な学習経験と創造的思考力 汎用的技能	知識・理解	子どもの心身の健康や発達について理解する	保育の本質と目的について理解する	保育者の役割について理解する
	技能	子ども一人一人の発達段階や心の動きに合わせて援助ができる	一人一人の子どもや保護者に対する基礎的な相談・援助ができる	保育の基礎技能を豊かな表現力で指導できる
	思考・判断・表現	保育の記録を通して、子ども一人一人の育ちをとらえることができる	子どもの生活に即した保育を構想することができる	自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる
	態度・志向性	子どもの最善の利益を尊重する	人と信頼関係を築き、相互に協力して共に育ちあおうとする	保護者としての社会的責任と自己表現の喜びを持つ
		子どもを知る	保育を知る	自分を知る
教育目標(人材養成目的)				

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIJYAMA UNIVERSITY

保育者の資質に関する項目の平均点(得点順)

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】「大学教育推進プログラム」
 スキをスキルにする保育者養成プログラム

項目	全体	高校生	幼稚園園長	保育園園長	幼稚園保護者	保育園保護者
子どもへ愛情を持ってかわることができる	4.93	4.86	5.00	4.96	4.90	4.95
明るく人と接することができる	4.77	4.75	5.00	4.91	4.68	4.65
思いやりのある優しい性格である	4.75	4.68	4.88	4.88	4.70	4.70
人とのコミュニケーション能力に優れている	4.68	4.61	4.78	4.79	4.55	4.62
必要なマナーを守って生活することができる	4.64	4.69	4.76	4.80	4.50	4.52
健康で、体力がある	4.63	4.54	4.84	4.90	4.56	4.42
礼儀正しく人と接することができる	4.62	4.63	4.78	4.84	4.44	4.50
社会への順応性・適応性がある	4.50	4.37	4.68	4.79	4.34	4.40
歌謡や諺談話などを適切に使うことができる	4.44	4.54	4.68	4.64	4.19	4.29
保育の専門知識を有している	4.44	4.31	4.65	4.62	4.27	4.46
幅広い教養と一般常識を有している	4.30	4.04	4.59	4.63	4.13	4.25
スポーツ、レクリエーションなどの能力に優れている	4.02	4.05	4.00	3.79	4.16	4.12
劇や紙芝居などを演じる技能に優れている	3.93	4.06	4.00	3.82	3.84	3.99
絵画制作の技能に優れている	3.92	3.91	4.00	3.83	3.92	4.00
ピアノ演奏の技能に優れている	3.89	3.87	4.22	3.97	3.74	3.87
幼稚園免許と保育士資格の両方を有している	3.46	3.89	3.78	4.00	3.06	2.71
幼稚園教諭一種免許状以上を有している	2.98	3.33	2.92	2.81	3.14	2.71
コンピュータ等情報処理の能力に優れている	2.97	3.12	3.46	3.70	2.40	2.41
4年間の大学教育を受けている	2.58	2.56	2.88	2.81	2.55	2.27
大学院の修士課程以上の学歴を持っている	2.17	2.43	2.03	2.07	2.28	1.97

注:「強く思う」5点、「少し思う」4点、「どちらともいえない」3点、「あまり思わない」2点、「ぜんぜん思わない」1点として平均を求めた。

(比治山大学短期大学部幼児教育科「2006年度現場が求める保育者の資質に関する調査報告書」, 2007年)

学習到達度指標の下位項目

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】「大学教育推進プログラム」
 スキをスキルにする保育者養成プログラム

	学習到達目標	下位項目	出所
【知識理解】	①保育の本質と目的について理解する	ソーシャルワークの構造理解 保育実践論・思想・発達論と現代の保育	保育士研修体系 幼稚園俯瞰図
	②子どもの心身の健康や発達について理解する	子どもの発達と保健・安全・食事などの理解 子どもの発達理論・人種・障害児保育・健康と安全	保育士研修体系 幼稚園俯瞰図
	③保育者の役割について理解する	教員の職務と研修・望ましい教師の姿 気になる子どもや種別のある子への対応・応急手当等緊急時の対応	幼稚園俯瞰図 保育士研修体系
【実践力】	①子ども一人一人の生活や発達過程に応じた援助ができる	特別支援教育 働きかた(指導・援助力)	幼稚園俯瞰図 社会人基礎力
	②保育の基礎技能を豊かな表現力で指導できる	基礎的対話・援助技術の理解・センス・感性・創造力 基本的な保育技術の習得・各種の教材理解	保育士研修体系 幼稚園俯瞰図
	③一人一人の保護者に対する基礎的対話・援助ができる	創造力・発信力 保護者との協力 保護者とのコミュニケーション・保護者支援	社会人基礎力 保育士研修体系 幼稚園俯瞰図
【計画・実行・評価】	①子どもの生活に即した保育を構想することができる	保育計画・指導計画に基づく保育実践・指導計画の立案 教育書類と指導計画 計画力	保育士研修体系 幼稚園俯瞰図 社会人基礎力
	②保育の記録を通して、子ども一人一人の育ちをとらえることができる	観察力・記録のとおり方・ゆかし方 保育記録の理解と作成・子どもの育ちと記録のとおり方	保育士研修体系 幼稚園俯瞰図
	③自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる	保育のアセスメント 自己点検・自己評価と研修 課題発見力	保育士研修体系 幼稚園俯瞰図 社会人基礎力
【態度・志望・責任】	①子どもの最善の利益を尊重する	子どもの最善の利益の尊重・発達保障・プライバシーの保護・愛情・倫理観・道徳性	保育士研修体系
	②人と信頼関係を築き、相互に協力して共に育ちあうとする	チームワーク・共感性・協調性・柔軟性・自励心・コミュニケーション 地域社会との交流・幼保小の連携	保育士研修体系 幼稚園俯瞰図
	③保育者としての社会的責任と自己実現の喜びを持つ	傾聴力・柔軟性・状況判断力 社会人としてのマナー・生活習慣と社会的マナー・専門職としての責務・達成意欲・行動力・情熱・主体性 主体性・実行力・規律性・ストレスコントロール力	社会人基礎力 保育士研修体系 社会人基礎力

参考資料
 「保育者の資質向上研修俯瞰図」(全日本私立幼稚園連合会、平成18年)
 「保育士の研修体系～保育士の階層別に求められる専門性～」(全国保育士会「保育士の研修体系」検討特別委員会、平成19年)
 「社会人基礎力」(経済産業省、平成18年)

学士力と学力の構成要素比較表

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】〔大学教育推進プログラム〕
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学士力(中教審、H20.12.24)		旧学習指導要領 (H14~)	新学習指導要領 (H23~)	社会人キャリア力	
【総合的な学習経験と創造的思考力※】	【知識・理解】	(1)多文化・異文化に関する知識の理解	【知識・理解】	【知識・理解】	時事問題
		(2)人類の文化、社会と自然に関する知識の理解			社会マナー
	【汎用的技能】	(1)コミュニケーション・スキル	【技能・表現】	【技能】	発信力、傾聴力、日本語力
		(2)数量的スキル			計算力
		(3)情報リテラシー			
		(4)論理的思考力	【思考・判断】	【思考・判断・表現】	課題発見力、創造力
		(5)問題解決力			計画力
	【態度・志向性】	(1)自己管理能力	【関心・意欲・態度】	【関心・意欲・態度】	実行力
		(2)チームワーク、リーダーシップ			柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力
		(3)倫理観			規律性
		(4)市民としての社会的責任			働きかけ力
		(5)生涯学習力			主体性

※これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIJYAMA UNIVERSITY

取組の達成目標①

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】〔大学教育推進プログラム〕
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習成果を可視化する評価システムの構築(学習成果の設定)

組織的な学習成果の評価

- 成績評価の妥当性
- 授業の関連性の確保
- ディプロマ・ポリシーと授業との整合性
- シラバスの常時見直し等

【評価方法】

- 指標1: 入学者に対する学習に関する実態調査
- 指標2: 到達度評価及び学生の自己評価
- 指標3: 実習評価及び学生の自己評価
- 指標4: GPA評価

教員の評価による学習成果 ÷ 学生の自己評価

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIJYAMA UNIVERSITY

学習成果を可視化する学生情報システム

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

Hi!wayシステム(学生情報システム)▼

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIJYAMA UNIVERSITY

取組の達成目標②

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習成果を可視化する評価システムの構築(学習成果の設定)

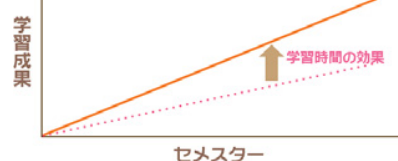
- 学生の意欲喚起と十分な学習時間の確保
- 得意・不得意のスキルの確認
- 学習計画に役立てる
- 主体的な学習スタイルの形成

【評価方法】

- 指標1:「バーチャル保育室」の利用頻度
- 指標2:映像のデータベース化件数
- 指標3:映像教材・機器の使用(貸出)件数
- 指標4:教員の教育コンテンツのUP件数

- 指標5:成績評価(秀・優・良・可・不可)
- 指標6:到達目標・学習時間等学生の自己評価
- 指標7:授業に関するアンケート調査

学習成果の向上



比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIJYAMA UNIVERSITY

「バーチャル保育室」の活用

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習自習室「バーチャル保育室」の活用



ロールプレイング(園児と保育者)



ロールプレイング(保護者と保育者)



保育シミュレーション(模擬保育)



授業(人間関係)



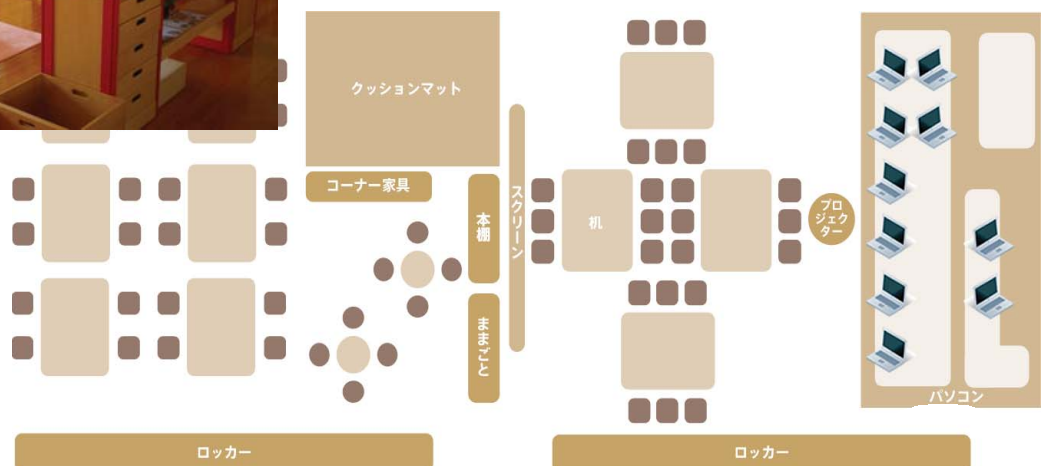
授業(言語表現)

子どもの内面の理解、相談・援助、基礎技能などの
スキルの向上

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIJYAMA UNIVERSITY

学生自習室「バーチャル保育室」

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIJYAMA UNIVERSITY

カンファレンスルームの活用

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
 スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習成果を可視化する評価システムの構築(学習成果の設定)

映像(動画や静止画)の記録・データベース化

●学生自習室「バーチャル保育室」
 ●授業・実習
 ●学外研究発表
 ●ボランティア活動
 ●市販の映像教材 ……などの映像

授業担当者による教育コンテンツなどの提供

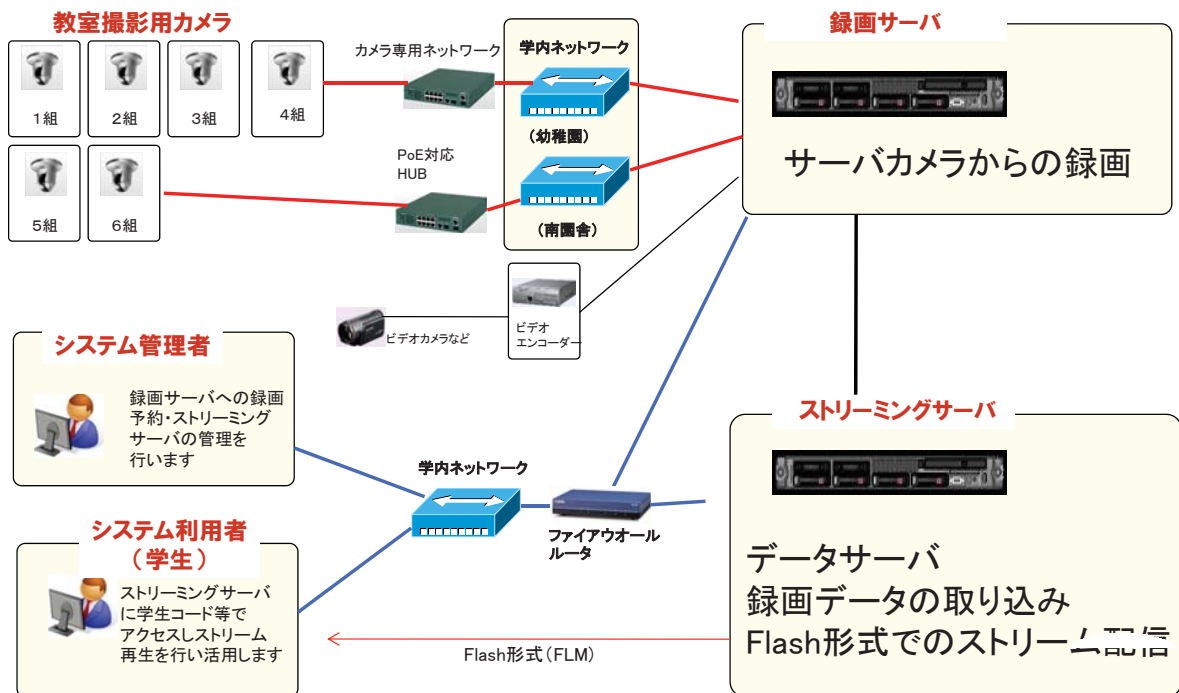
Mon 月曜日
 1限 保育原理
 2限 保育内容(人間関係)
 Tue 火曜日
 Wed 水曜日

授業資料グループ 全て対象
 並べ順 授業実施日順 降順
 2010/07/05(月)
 作成者 湯地 宏樹
 前期の授業の全資料です。

保育の記録、保育の構想、保育の過程の振り返り・自己評価などのスキルの向上

教育実習映像収録装置

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
 スキをスキルにする保育者養成プログラム



学習ポートフォリオの活用

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

- ・学習成果の可視化
- ・授業の到達目標の提示

ようきょう 学習ポートフォリオ 2014年



学生番号	名 姓
------	-----

比治山大学短期大学部 幼児教育科

- ・教員による自己評価の確認
- ・問題点/課題などへの指摘
- ・次のセメスター /実習に向けてのアドバイス

学習計画(学習ポートフォリオ)

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

1セメスター成績評価表<自己評価用>

授業科目名	授業方法	単位数	【知識・理解】			【技能】			【態度・応用性】			自己評価	成績
			子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども	保育	自分		
教育基礎論	講義	2	2*										
社会福祉	講義	2	2*						2*				
保育の心理学	講義	2	2*	2*									
子どもの保健	講義	2	2*					2*					
保育内容(言葉)	演習	1	1*							1*			
保育内容(表現)	演習	1				1*			1*				
保育内容(総論)	演習	1	1*										
音楽1	演習	1								1*			
図画工作1	演習	1								1*			
体育1	演習	1	1*										
1セメスター計													
さくら3分咲き 基準値													

学習振り返りシート

成績からみる得意分野と課題

HJUCAN (学習到達度評価) や各教科の成績から、自分自身を振り返ってみたいよう。

得意分野 (長所)

課題 (短所)

アセスメントからみる得意分野と課題

自己作成しポートや自己記入キャリアの成果を見て、自分自身を振り返ってみたいよう。

得意分野 (長所)

課題 (短所)

省察

得意分野 (長所) をさらに伸ばすには

課題 (短所) を克服するには

提出期間 月 日 提出場所

所見欄

学習ポートフォリオの活用

平成22年度 大学教育・学生実務推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

【幼稚園教育要領】第2章 ねらい及び内容

内容	領域
遊んで戸外で遊ぶ。	運動3
身近な物を大切にすること。	環境6
自分で考え、自分で行動する。	人間2
自分ができることは自分でする。	人間3
健康な生活のリズムを身に付ける。	健康6
先生や友達と食べることを楽しむ。	健康5
生活の中で必要な言葉が分かるように使う。	言葉5
楽しみをもって日課のあいさつをする。	言葉6
幼稚園以外の行事において国際に親しむ。	国際7
いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。	運動2
様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。	運動4
いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。	表現5
生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。	言葉7
友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。	人間10
日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。	環境8
先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。	人間

領域 分野	授業科目名	授業方法	到達目標	学習到達度評価								
				【知識・理解】		【技能】		【態度・応用性】				
				子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども	保育	自分
専 門	教育基礎論	講義	①教育に関する諸理論、歴史、制度を理解し、基本的知識を得る。②教わる側から教える側へと移行するなかで教育の本質と目的は何かを考えることができる。③教育に関心をもち、積極的な態度で参加し、課題に取り組むことができる。	○							○	
	保育学論	講義	①保育者の役割について理解する。②教わる側から教える側へと移行するなかで保育の本質と目的は何かを考え、表現することができる。③主体的に授業に参加し、積極的に課題に取り組むことができる。	○	○							○
	社会福祉	講義	①「社会福祉」の理念、仕組み、法律、制度などについて理解する。②福祉制度の活用について、問題点と改善する方法を身に付ける。③福祉の役割を必要とする状況を理解し、適切な福祉サービスを紹介する力を身に付ける。④「社会福祉」全般に関する基礎知識を身に付ける。⑤今後の課題について考える。	○								○
	福祉援助	演習	①社会福祉援助技術全般の理解と実践的な知識を理解する。②事例の検討を通して、育児支援・地域福祉に関連した技術的、法的な知識を身に付ける。③福祉サービスの提供と福祉の意義とその歴史の発展を認識する。④児童福祉に関する法規制とその実施体制や施策を学ぶ。⑤現状の問題を把握できる。	○			○					
	児童家庭福祉	講義	①保育の諸理論・方法などについて理解する。②自分の保育観・人間観の形成、自己評価など。	○							○	
	保育原理	講義	①保育の諸理論・方法などについて理解する。②自分の保育観・人間観の形成、自己評価など。	○							○	
	保育実務I	講義	①保育の諸理論・方法などについて理解する。②自分の保育観・人間観の形成、自己評価など。	○							○	
社会的実践	講義	①児童福祉の歴史や現状を学び、理解する。②支援の方法やその考え方について学ぶ。③課題や問題点について考え、解決していく。	○									

実習評価表<自己評価用>

学年	学生番号	名前
到達目標 (学習の観点)	到達目標 (学習の観点)	到達目標 (学習の観点)
1 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について	2 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について	3 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について
4 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について	5 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について	6 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について
7 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について	8 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について	9 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について
10 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について	11 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について	12 子どもの成長を促す、個々の発達や発達障害の理解について

学習振り返りシート

成績からみる得意分野と課題

HJUCAN (学習到達度評価) や各教科の成績から、自分自身を振り返ってみたいよう。

得意分野 (長所)

課題 (短所)

アセスメントからみる得意分野と課題

自己作成しポートや自己記入キャリアの成果を見て、自分自身を振り返ってみたいよう。

得意分野 (長所)

課題 (短所)

省察

得意分野 (長所) をさらに伸ばすには

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

取り組み

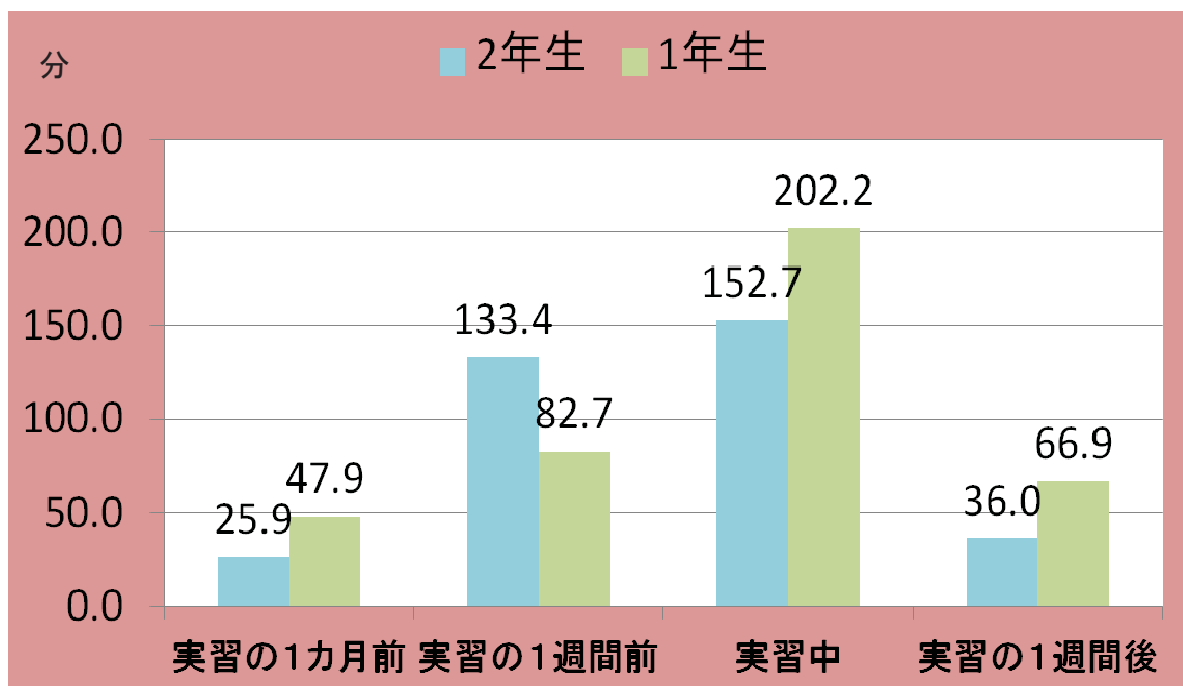
平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

- 学習時間・学習時間と学業成績の関係
- バーチャル保育室の利用状況
- 学習アドバイザーへの相談
- 映像データベース化
- 教材の使用

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIYAMA UNIVERSITY

実習前後の学習時間

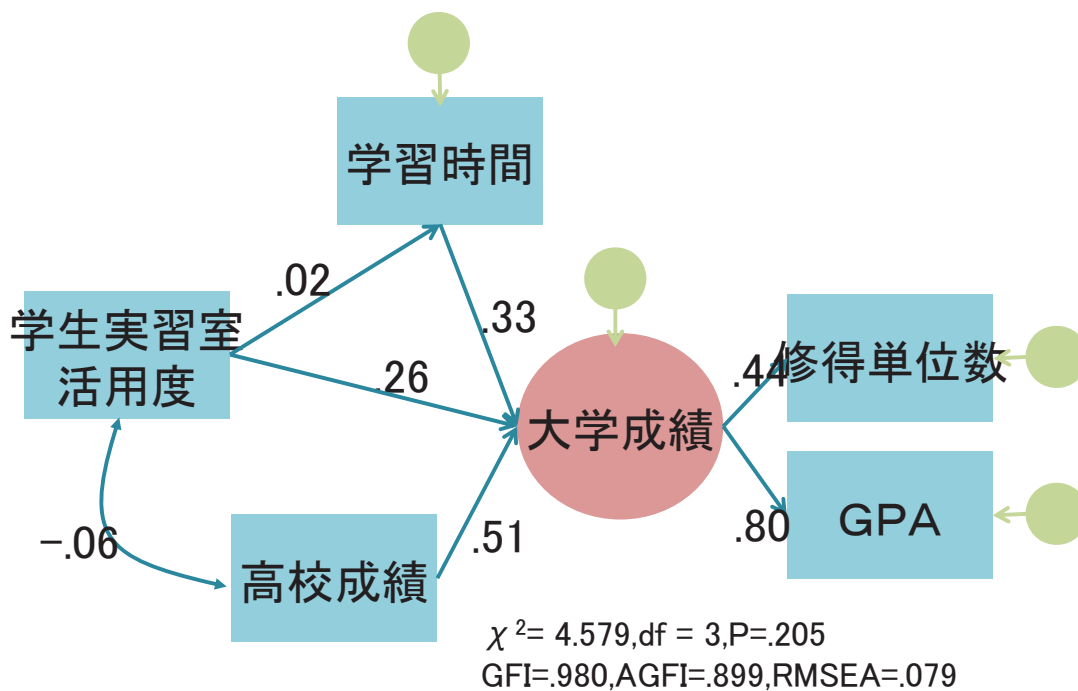
平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIYAMA UNIVERSITY

学習時間と学業成績との関係

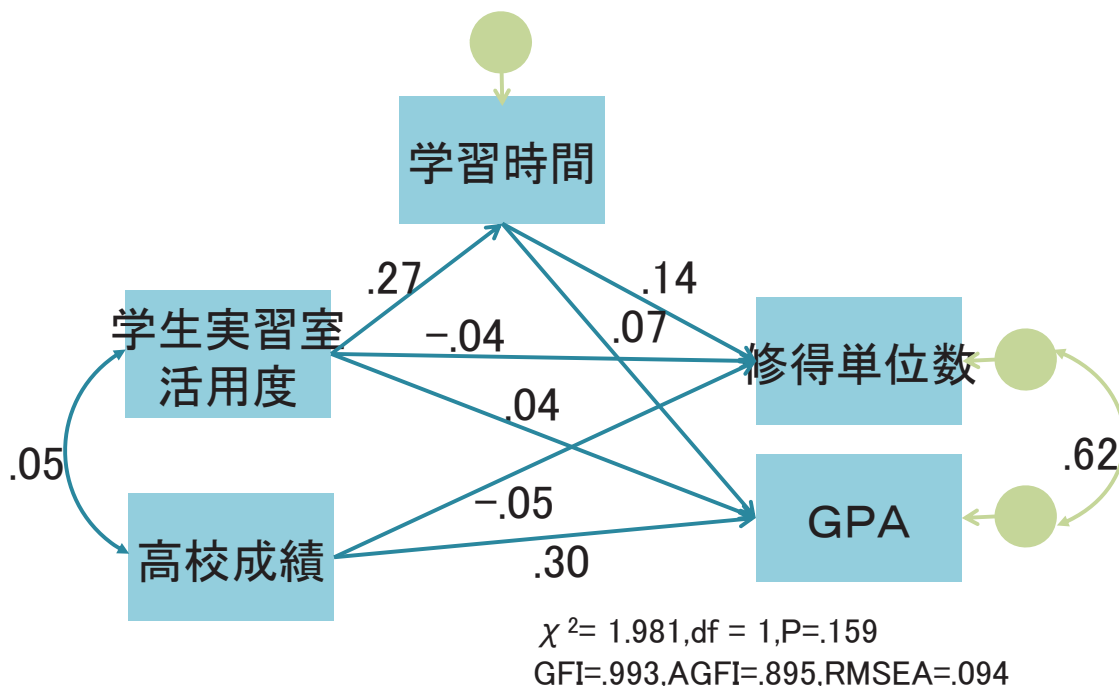
平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学習時間と学業成績との関係

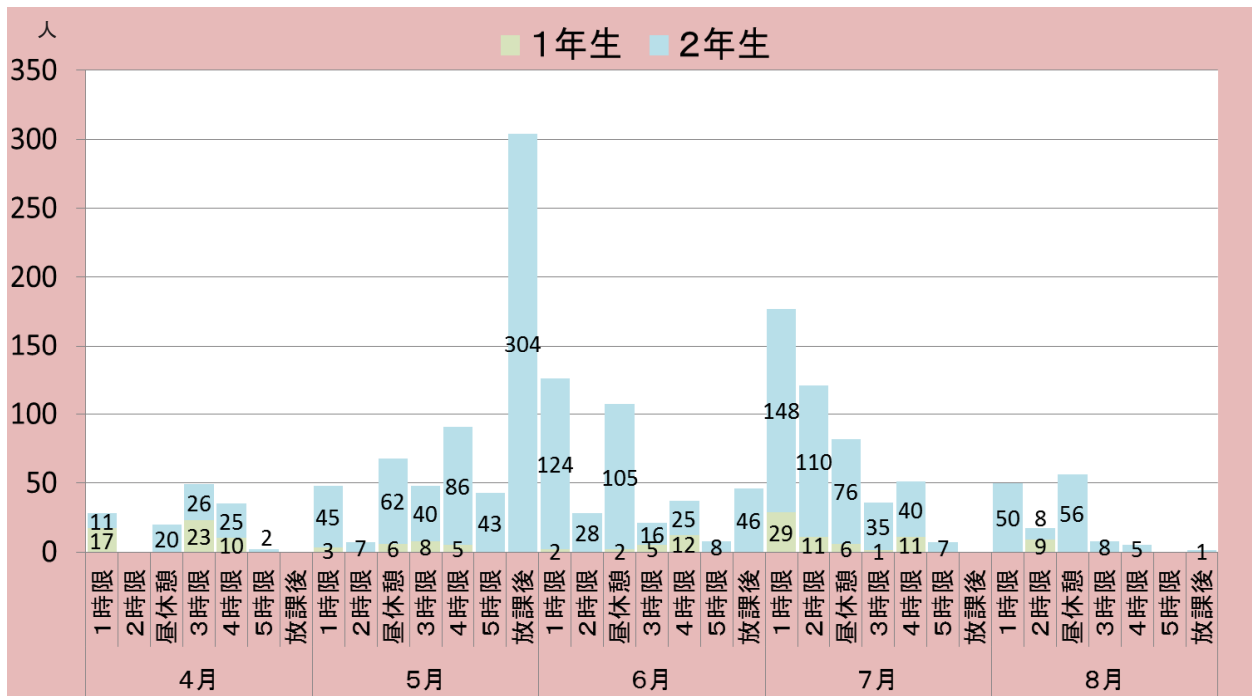
平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

バーチャル保育室利用状況(時限毎)

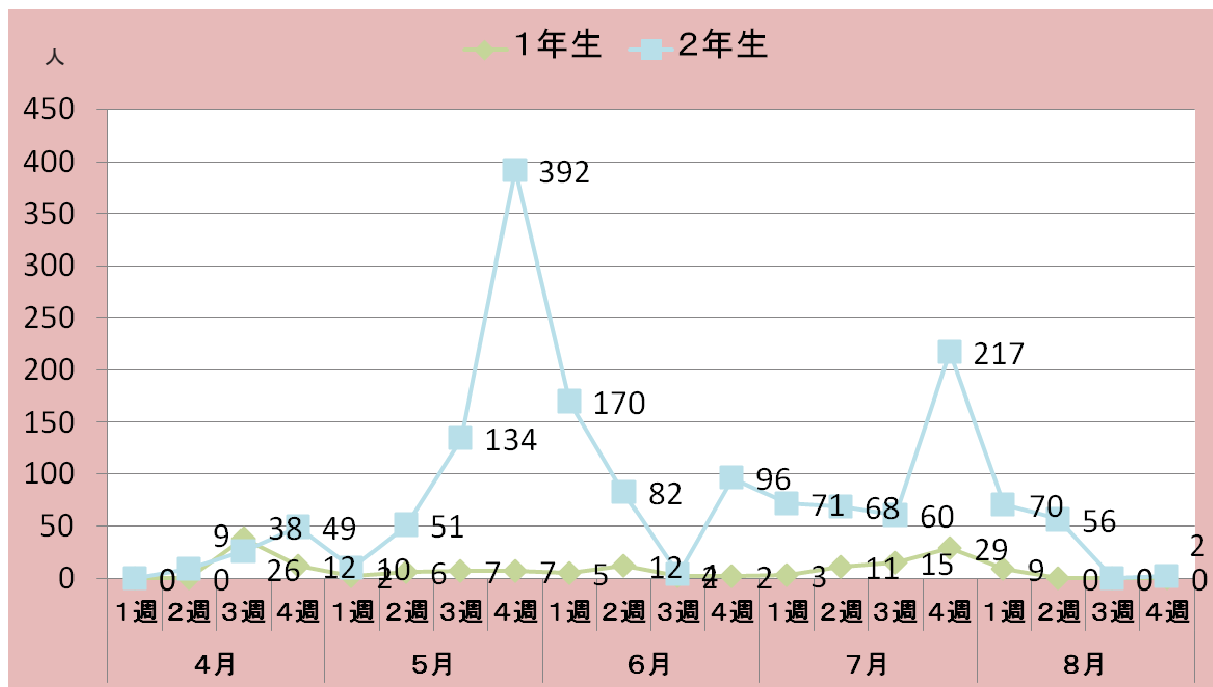
平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

バーチャル保育室利用状況(週毎)

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

バーチャル保育室利用に関する調査

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

Q 実習準備で学生自習室を活用したか(人)

	1年生	2年生
とても活用した	11	61
まあまあ活用した	38	34
あまり活用していない	41	1
全然活用していない	29	0

Wilcoxon検定:p<.001

Q 学生自習室は学習に役に立っていますか

	1年生	2年生
とても役に立っている	37	75
まあまあ役立つ	68	16
あまり役立たない	6	0
全然役立たない	5	0

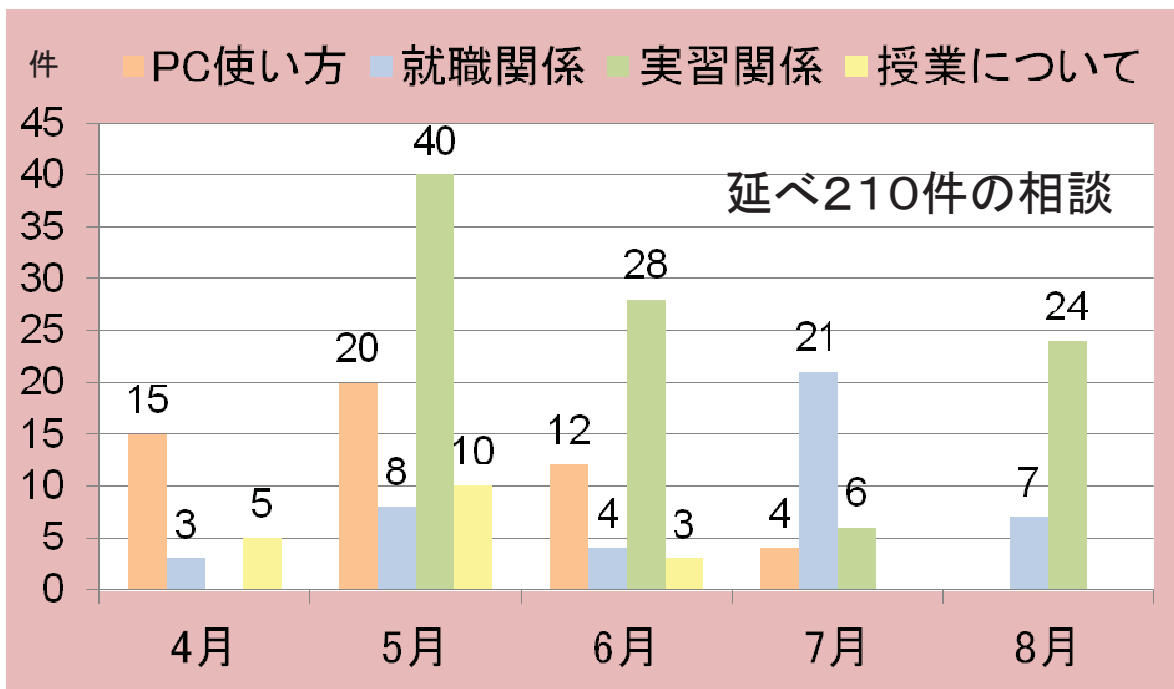
Wilcoxon検定:p<.001

- ・学習アドバイザーに相談できてよかった。(39)
- ・(土日、20時以降など)学生自習室「バーチャル保育室」の利用時間を増やしてほしい(10)。
- ・3階まで上がるのは大変だった(7)
- ・備品が充実していて使いやすかった(5)
- ・使いやすかった(4)
- ・もっと広くしてほしい(3)。
- ・教室の清掃、片付けをしてより快適に使えるようにしたい。
- ・(フェルト、CDデッキ、絵本、机、いす、マネキンなど)教材・備品を増やしてほしいなど

比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIYAMA UNIVERSITY

学習アドバイザーへの相談件数

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科
HIYAMA UNIVERSITY

映像のデータベース化・視聴ログ件数

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

月	ログイン数	視聴時間
6月	31	9:23:44
7月	14	5:39:57
8月	4	0:11:46
9月	8	2:17:05
10月	5	0:44:47
11月	69	14:48:24
計	131	33:05:43



録画時間
約7,200分

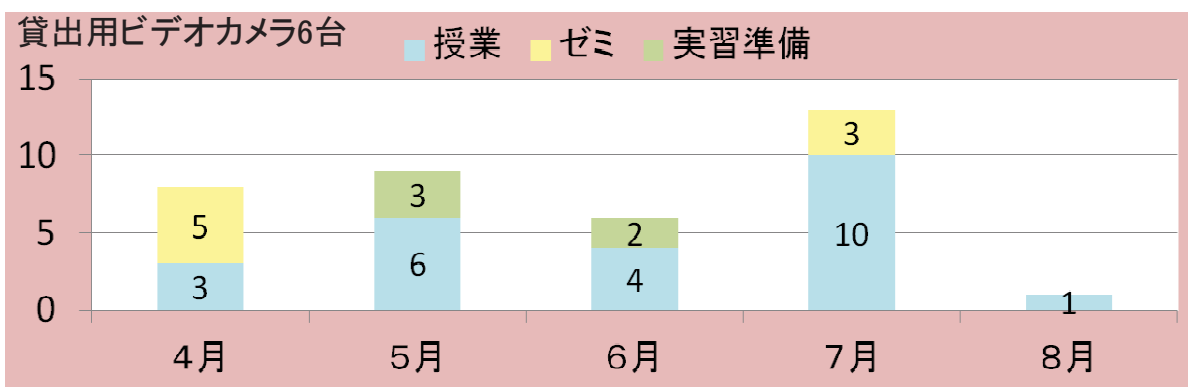
2011年5月～8月31日

5日間×60分×2(午前・午後)×6クラス×2(1・2組)

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

映像教材・機器・図書の使用(貸出)件数

平成22年度 大学教育・学生実習推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



絵本372冊
CD22枚
紙芝居55巻

絵本貸出し冊数
111冊
(2年生103冊,1年生8冊)

2011年4月～8月31日

比治山大学 短期大学部 幼児教育科